

霧降高原にリフトを増設

小丸山頂上まで三二八メートル

（小丸山）観光資源開発の一環として、市では霧降高原の開発をすすめていますが、同高原にもう一基リフトを増設することになり、このほどその工事が始まりました。

霧降高原には皆さますでにご承知のとおり、昭和四十年に新設した三基のリフトがあります。冬はスキーリフトとして、春からは夏山リフトとして運転していますが、まずまずの収益を

【第四リフトの架設工事現場】

あげているところから、利用価値、運転価値からみて小丸山頂上までリフトをのばそうという

ことで、第三リフトの終点から小丸山の頂上まで第四リフトを増設することになったものです。長さは三二八メートル、所要

一気に入り降りすると延長して一、五〇〇メートルの滑走が楽しめるわけです。また、夏山リフトとしては、とくにキスゲの大群落を左側に見おろしながら小丸山をリフトで登り、頂上付近のキスゲ大群落地帯まで行くことができます。

時間は約四分、第三リフトの終点から向かって右側の稜線に沿ってリフトを新設しますが、スキーリフトとしては斜面が二八度から三〇度という上級者向けのコースがとれます。したがって、この第四リフトの終点から

向河原大谷橋を復旧

永久橋に架け替え

昨年九月二十四日、台風二六号によって流失した向河原大谷橋の復旧工事がこのほど始まりました。

流失以来ご不便をかけていましたが、国の査定も終わり、台風時期もすぎましたので着工のはこびとなったものです。

新設する橋は、幅五・二メートル、長さ五五・一メートルの重量車が通行できる鋼材を使用した永久橋です。川の中に橋脚を二基設け、旧橋と同じ場所に架設します。

ふつう、災害復旧の場合は原形復旧が原則とされているので

ですが、この橋の公益性および将来性を考え永久橋にしたいという市の申し入れを国がとくに認めてくれたため、永久橋としての復元が実現したものです。

工事費は護岸、石積工事を含め総額で一、〇二〇万円、国庫

文化観光施設整備事業としてこのほど山内地内の市道（52 53 57号線）の舗装新設工事を始め

ました。舗装する箇所は、東観荘の所

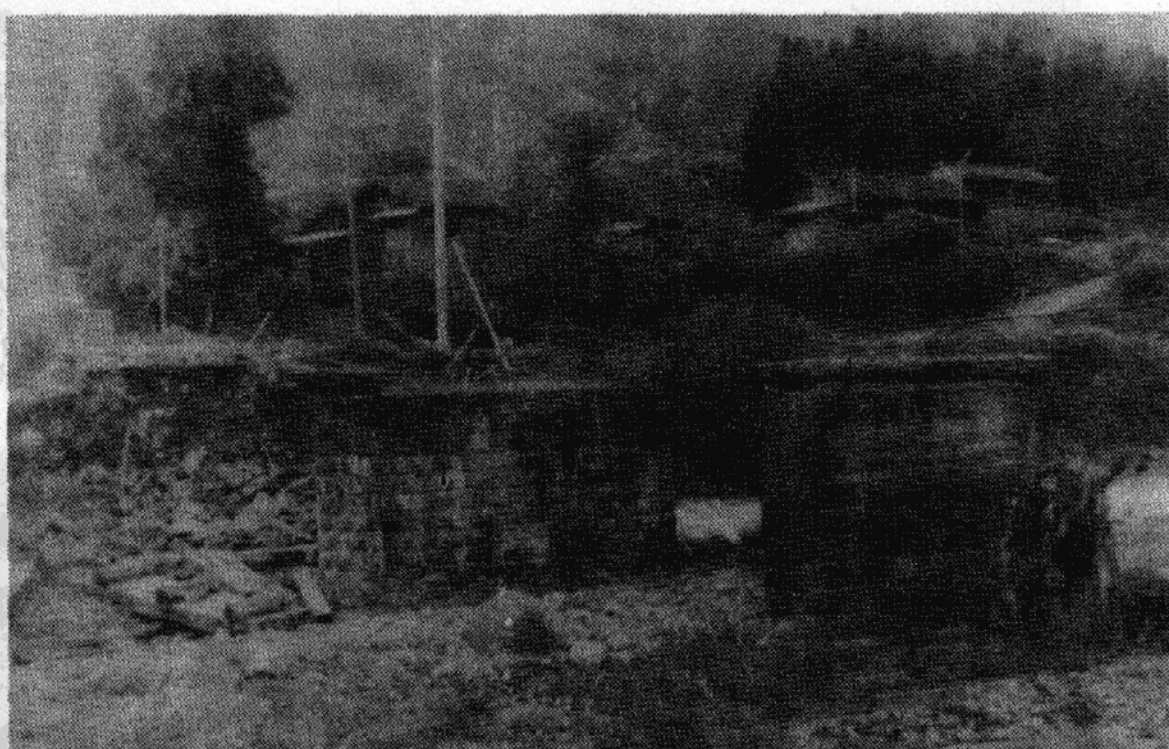
山内地内の市道を舗装

補助と起債を導入して行ないます。これが完成されまると、地域の利便はもとより、産業橋として果たす役割も大きく

その成果はひじょうに大きいものがあります。なお、完成は来年三月の予定です。

から山内幼稚園、日増院を経て桜の馬場線に至る市道と、日増院の角から三延坂を経て輪王寺横に出る市道で、延長四六四メートルを舗装します。一部拡幅

するほか側溝を改良、新設し排水管を布設します。全面アスファルト舗装で、工事費は総額で五六四万三、〇〇〇円です。完成は十一月末の予定ですがこの工事が終わりますと山内地内の市道舗装はだいたい完了することになります。



【流失した大谷橋】